

全日本マスターズ。 見せ場つくった男子100m

早くも霜月。今年も残り少ない。9月に古都であった全日本マスターズ大会の続編をお届けするのが当たり前だが、10月には岩手県で全日本マスターズ競歩大会があり、全日本マスターズの第二章は短縮を余儀なくされた。今月は話題となった男子100mのM50クラスに焦点を当てたレポートをお届けする。

写真／中野英聡、岩手マスターズ陸上競技連盟

出たぞ、追い風だが10秒台 見応えあったM50・100m

スタンドのざわめきが大きくなった。9月23日の11時30分から始まったM50クラスの100m。全9組でレースを行い、タイムレースで順位を決めるのだが、その6組の選手紹介がされたときだ。「2レーン、朝原宣治さん、京都」と、朝原さんの名前が紹介された瞬間、さらに「3レーン、赤堀弘晃さん、兵庫」のときも。マスターズのファンなら、両者がライバルとして、しのぎを削っている間柄であることを知っているからだ。共に52歳。

号砲が鳴った。速い。やはり朝原さんの走りには伸びがあって、抜群の速さだ。ゴールした。速報は10秒93。50代で10秒台とは。スタンドからはため息が聞かれ、拍手が――。

やはり五輪代表選手は違うことを披露した朝原さんの走り。ただ、残念ながら追い風3.3mで参考記録に。朝原さんは「体調はまあまあ。今年マスターズ全日本大会が京都だったので、出てみようかと。この日に合わせて調整してきました」とのこと。

朝原さんといえば、100mのベスト10秒02(+2.0)を2001年に出し、08年北京五輪の4×100mRではアンカーで力走、銀メダルへ結びつけた。

朝原さんの隣のレーンを走った赤堀さんは「8月にスウェーデンであった世界マスターズ陸上に出た後、十分に練習もしてなかったし、11秒28(+3.3)は納得のタイムです」と話す。この御兩人、23年に北京のアジアマ



リレーフェスティバルの「非公認の部」で実施された4×100mRで43秒58を記録した「マスターズレジェンド」。右から寺下さん、水口さん、赤堀さん、朝原さん

スターズ陸上のM50・4×100mRで44秒42と、当時の世界新を出したときのメンバーでもある。

さらにM50・100mの8組1位を11秒20で走った水口政人さん(50歳・神奈川)が総合2位に食い込んだ。ただし、このタイムも追い風2.6mで非公認となった。M50クラスの100mの総合順位では①朝原さん②水口さん③赤堀さんがトップ3を占めた。

また、11秒79(+3.3)で総合7位となった佐藤政志さん(51歳・新潟)も存在感のある人物だ。8月、スウェーデンでの世界マスターズ陸上のM50・4×100mRは1走・佐藤さん、2走・水口さん、3走・赤堀さんの走順で44秒08の世界新Vを逃げたのだ。

赤堀さんは「今年のスウェーデンは夏なのに寒くて。しかもレースのときには雨まで。私は身体が動かず100mは4位。リレーを44秒そこそこで走れたのが不思議なくらい」という。

それにしてもM50クラスは朝原さ

んをはじめ、マスターズのトップ組がそろい、見応えのあるレースを展開。特に現役時に「超スプリンター」だった朝原さんが姿を見せたことは、マスターズ陸上界に刺激を与える。朝原さんは「スパイクを脱いで10年が過ぎた18年に『また、陸上を楽しもうか』とマスターズへ」と、以後、参加している。

現在、大阪ガス陸上部の副部長を務めながら、兵庫県西宮市にある同社の競技場で行っている『陸上・教室クラブ』で指導するなど多忙の身。が、気楽にマスターズ陸上に参戦するなど、肩肘を張らない人柄が良い。

なお、余談だが今年10月6日に東京・国立競技場であった日本陸連主催のリレーフェスティバルの4継で、M50クラスのメンバーで44秒を切る43秒58のともでもないタイムを出した。1走は全日本マスターズでM50・100m11秒45(+2.3)で総合4位の寺下健治さん(54歳・京都)、2走が

水口さん、3走は赤堀さん、アンカーが朝原さん。このタイムは44秒08の上をいく世界的記録だが非公認とか。



100mでは98歳の亀濱敏夫さん(沖縄)も大きな拍手を浴びてM95クラスで力走。24秒33(+1.1)で走り、200mも58秒85(-1.5)でフィニッシュ。亀濱さんは200m48秒09の日本記録を持ち、48秒89の大会記録保持者でもある。

ほかにM-24クラスをはじめ、M40までの各クラスで10秒台は出ているが、朝原さんのタイムを上回ったのは、M40の吉崎裕祈さん(42歳・青森)で10秒92(+1.3)を出した。同タイムは11秒01を上回る大会新。

また、若いクラスのM-24で最も速かったのは浜崎海音さん(24歳・富山)の10秒93(+2.1)で、朝原さんと同タイムだった。

兵庫マスターズM50走高跳 福本義永さん(京都)が日本新

秋晴れに恵まれたスポーツの日の10月14日、神戸市のユニバー記念競技場で第43回兵庫マスターズ陸上競技選手権が行われ、日本新を含む46の大会新、2つの大会タイ記録が量産されて盛り上がった。

大会には兵庫だけでなく、他府県からの参加も多く計430人。日本新記録が生まれたのはM50・走高跳で、福本義永さん(51歳・京都)が1m91を跳んだ。旧記録は福本さん自身が昨

年の全日本マスターズ選手権で出した1m90。

ほかに同じM50の100m11秒56(+1.0)、200m23秒74(-0.2)と両種目に大会新で勝ったのは赤堀弘晃さん。9月の全日本マスターズでの100mは11秒28(+3.3)で3位に食い込んだ。

ほかでは全日本マスターズで活躍したM80・砲丸投、やり投の上月賢三さん(80歳・兵庫)が砲丸投(3.0kg)9m15、やり投(0.4kg)30m37の各大会新をマーク。やり投は兵庫新でもある。全日本マスターズでは砲丸投9m33、やり投30m04で2種目を制している。

女子ではW85・ハンマー投とやり投で大会新を出した荻部裕子さん(86歳・兵庫)がハッスル。ハンマー投(2.0kg)15m82、やり投(0.4kg)10m30で、こちらは兵庫新。全日本マスターズでの荻部さんはハンマー投が16m08、やり投11m38と各大会新Vを遂げた。

2024全日本マスターズ競歩 日本新が多数生まれる

全日本マスターズの2024競歩大会は10月14日、岩手県北上市の総合運動公園競歩路で行われ、男女の35km W、20km W、10km W、5km Wの4部門で熱い競歩を繰り広げ、日本新、創設の日本・大会記録が相次いだ。エントリーは約男女80人で、八重樫輝男会長の話では「例年以上の盛り上がりで、参加者からは『楽しかった』の声が聞かれた」とのこと。



2024全日本マスターズ競歩では、岩手出身で16年リオ、21年東京と2度の五輪出場を果たし、今年6月に現役を引退した高橋英輝さん(前列中央)がスターターを務めた

2024全日本マスターズ競歩

| クラス | 順位 | 記録 | 選手名(年齢・地区) |
|-----------------------------|----|------------|---------------|
| 男子35km W | | | |
| M35 | 1位 | 4時間08分25秒※ | 船越 敬也(39・岩手) |
| M40 | 1位 | 3時間43分30秒 | 小笠原 諒(41・東京) |
| M40 | 2位 | 4時間19分59秒 | 林 宏明(40・山口) |
| M45 | 1位 | 4時間02分03秒○ | 辻本 始(46・奈良) |
| M45 | 2位 | 4時間08分30秒 | 吉田 正憲(47・神奈川) |
| M50 | 1位 | 3時間44分29秒※ | 中川 裕一(53・三重) |
| M50 | 2位 | 4時間09分31秒 | 朝見 光憲(52・神奈川) |
| M55 | 1位 | 3時間53分12秒※ | 菊地 寿(57・岩手) |
| M55 | 2位 | 4時間00分40秒※ | 大森 健輔(56・千葉) |
| M60 | 1位 | 4時間19分40秒※ | 前田 克哉(61・東京) |
| M60 | 2位 | 4時間19分46秒※ | 福澤 潤一(64・栃木) |
| M65 | 1位 | 4時間06分23秒※ | 野村 尚史(66・宮崎) |
| M65 | 2位 | 4時間28分46秒 | 佐々 順一(68・三重) |
| M65 | 3位 | 5時間34分58秒 | 田所 望(67・栃木) |
| M70 | 1位 | 4時間37分11秒※ | 清水 進(72・京都) |
| M75 | 1位 | 5時間00分47秒○ | 藤岡 保(75・三重) |
| M75 | 2位 | 5時間01分02秒 | 八重樫 悟(75・茨城) |
| 男子20km W | | | |
| M-24 | 1位 | 1時間44分57秒○ | 宮森 祐太(24・岩手) |
| M30 | 1位 | 1時間52分48秒※ | 櫻井 悠也(30・愛知) |
| M30 | 2位 | 2時間33分43秒 | 中村 博紀(33・大阪) |
| M40 | 1位 | 1時間43分37秒※ | 榎橋 敬史(42・新潟) |
| M40 | 2位 | 1時間51分55秒※ | 松下 善俊(44・青森) |
| M55 | 1位 | 2時間11分18秒 | 村上 博(55・東京) |
| M65 | 1位 | 3時間12分42秒 | 津田 光央(65・大阪) |
| 男子10km W | | | |
| M35 | 1位 | 58分02秒 | 村上 勇磨(38・東京) |
| M50 | 1位 | 1時間14分44秒 | 斉藤 政行(50・茨城) |
| M55 | 1位 | 1時間08分03秒 | 佐田正二郎(56・福岡) |
| M60 | 1位 | 55分25秒 | 大森 健一(62・石川) |
| M60 | 2位 | 1時間05分58秒 | 竹中 誠(61・徳島) |
| M65 | 1位 | 1時間10分41秒 | 吉岡 隆(65・埼玉) |
| M65 | 2位 | 1時間12分48秒 | 椎名 誠(69・山形) |
| M70 | 1位 | 1時間23分58秒 | 高橋 元(73・岩手) |
| M75 | 1位 | 1時間11分28秒 | 久村 隆一(77・北海道) |
| M75 | 2位 | 1時間15分26秒 | 佐々木 隆(76・岩手) |
| M75 | 3位 | 1時間17分40秒 | 高澤 賢一(78・埼玉) |
| M75 | 4位 | 1時間18分18秒 | 柴田 秀夫(77・京都) |
| M85 | 1位 | 1時間40分30秒 | 来田 悦一(87・東京) |
| 男子5km W | | | |
| M-24 | 1位 | 22分43秒※ | 宮森 祐太(24・岩手) |
| M25 | 1位 | 24分01秒※ | 米田 研志(27・徳島) |
| M25 | 2位 | 25分02秒※ | 多田 匠(25・千葉) |
| M35 | 1位 | 24分33秒※ | 村上 勇磨(38・東京) |
| M40 | 1位 | 24分47秒※ | 松下 善俊(44・青森) |
| M40 | 2位 | 32分18秒 | 高木 靖幸(42・広島) |
| M50 | 1位 | 36分18秒 | 斉藤 政行(50・茨城) |
| M55 | 1位 | 28分07秒 | 石毛 仁(57・千葉) |
| M55 | 2位 | 32分55秒 | 森本 文雄(58・和歌山) |
| M60 | 1位 | 24分59秒※ | 大森 健一(62・石川) |
| M60 | 2位 | 36分24秒 | 菊地 正行(60・岩手) |
| M65 | 1位 | 30分43秒 | 矢野 猛(68・兵庫) |
| M70 | 1位 | 28分48秒※ | 佐々木 茂(71・青森) |
| M70 | 2位 | 38分55秒 | 神田 好(73・千葉) |
| M75 | 1位 | 46分03秒 | 松原 一廣(76・愛知) |
| M80 | 1位 | 38分19秒 | 肥後 富男(83・福岡) |
| クラス 順位 記録 選手名(年齢・地区) | | | |
| 女子35km W | | | |
| W25 | 1位 | 3時間25分45秒○ | 榊川 礼菜(27・神奈川) |
| W55 | 1位 | 4時間10分23秒※ | 永井希世美(55・大阪) |
| 女子20km W | | | |
| W55 | 1位 | 2時間32分13秒 | 佐藤奈緒美(59・北海道) |
| 女子10km W | | | |
| W60 | 1位 | 1時間08分57秒 | 増岡美由紀(60・奈良) |
| 女子5km W | | | |
| W65 | 1位 | 38分25秒 | 松原 良子(66・愛知) |
| W70 | 1位 | 36分36秒 | 芳賀裕美子(71・青森) |

(○)は日本創設、※は日本新